



TRIOMED

抗菌医療用接着テープ

医療用接着テープに対する重大な技術革新：

トライメッド社が微生物汚染をコントロールする効果的な抗菌技術を開発(細菌、ウイルス、スポア)

特徴：

TrioMed医療接着テープは、チューブを固定したり、包帯や電極、その他のデバイスを留めるための使い捨て用具です。

ラテックスフリー。

着け心地がよく、柔軟性のある不布織製です。

強力で、しっかりと固着し、ロール式ですから簡単にカットして裏側の紙をはずし、必要な場所に貼りつけることができます。

5年保存可能(立証済み効果)

無駄になりません。



トライオメッド社の抗菌医療用テープの優位性

■ブドウ球菌、MRSA、エンテロコッカス・フェカリス菌、大腸菌、VRE、クレブシヤ菌、多剤耐性アシネトバクター、H1N1インフルエンザ・ウイルス等に対する立証された99.99%の殺菌力があります。

■細胞毒性は無く炎症を起こすような刺激もありません。

・院内感染の発生源になりうる接着テープ

•すべての科学的及び臨床研究が普通一般的にヘルスケア環境で使われている医療及び手術用テープは病原菌に感染しており、感染の主な発生源になっているかも知れないことを示唆しています。

•トライメッド社の抗菌技術は広範囲に及ぶ病原体に対し強力な抗菌力を持つ三価ヨウ素を応用しこの感染リスクに対処する抗菌医療用接着テープを開発しました。

•トライオメッド社の抗菌医療用接着テープは効果的に有害な病原体を殺します。トライオメッド社の抗菌医療用テープが現存する広範囲な汚染問題に対し現在唯一の解決策です。

BIOMEDICAL

TrioMed Innovations Europe SA

Chaussée de Nivelles, 167

7181 Arquennes, Belgique

www.triomedeuropa.com

抗菌テープに接触すると有害な病原体を99.99%中和します。

市販されているテープとトライオメッド社のテープを12時間患者に使用し比較した感染研究：



ペトリ皿上のバクテリア・コロニー
市販されている手術用テープ

VS



ペトリ皿上コロニーはありません。
トライオメッド社の抗菌医療用接着テープ

結論: 上の2つの写真から明らかなように市販のテープは微生物学的には汚染されておりますが、トライオメッド社の抗菌テープは微生物学的に無菌状態を維持しています。

- 専門誌「ゼネラル・内科医学」で発表されたトロント大学での研究によれば研修大学で集められた接着テープの標本の74%が病原体バクテリアのコロニーが認められたとの報告があります。
- Berkowitz et al.²によれば集中ケアユニットで使われている接着テープのロールはブドウ球菌、緑膿菌その他の大腸菌類などの病原菌で汚染されていると発表しています。
- オーストラリアの研究では3つの病院から集められた一部使用済みの接着テープの52%が有毒なMRSAやVREなど抗生物質耐性を持つスーパーバグであったとの報告があります。
- 米国の研究(Cady & Al)⁴では病院環境で使われている医療用テープの58%が汚染されているとの報告があります。
- 米政府発刊の“フェデラル・レジスター”は「医療用接着テープは汚染を除去することは出来ず、一度汚染された医療用テープは医療従事者や入院患者の健康に対し汚染(感染)源となることがある」と言及しています。

Literature:

¹ Redelmeier, D. A., Livesley, N. J. *Adhesive Tape and Intravascular-Catheter-Associated Infections. J. Gen. Intern. Med., 1999; 14:373-375.*

² Berkowitz, D. M., Lee, W., Pazin, G. J., Ho, M. *Adhesive Tape: Potential Source of Nosocomial Bacteria. Appl. Microbiol., 1974; 28:651-654*

³ Harris, P. N. A., Ashhurst-Smith, C., Berenger, S. J., Shoobert, A., Ferguson, J. K. *Adhesive Tape in the Health Care Setting: Another High-Risk Fomite? Med. J. Australia, 2012; 196:34.*

⁴ Cady, M, DO., Gross, L. MD., Lee, N, MD., *IV Tape: A Potential Vector for Infection. J.APSF, 2011*

I3 Biomedical Inc. (Headquarters)
14163 boul. Du Curé Labelle Suite 50
Mirabel, Québec, Canada J7J 1M3
Tél: (+1) 438.792.6288
info@i3biomedical.com
www.i3biomedical.com